平成24年度 第7回 経営戦略会議 審議結果

日時：平成24年11月13日（火）10：30～11：45

場所：5階庁議室

【議 題】 第2次熊本市食の安全安心食育推進計画の素案について

【提案局】 健康福祉子ども局（健康づくり推進課・食品保健課）

説明者：宮本健康福祉局次長（田端健康づくり推進課長・中間食品保健課長）

【出席者】 幸山市長、西島副市長、寺崎副市長、飯銅総務局長、岡田企画振興局次長、岡財政局長、原本環境局長、多野農水商工局長、齋藤中央区次長、西島東区長、内田西区次長、永目南区長、石原北区長、藤本教育委員会事務局次長

【付議内容】 第2次熊本市食の安全安心食育推進計画の素案の内容について確定したい。

【資料】 ◇付議事項調書（様式1）

◇第2次熊本市食の安全安心・食育推進計画素案について（概要）

◇第2次熊本市職の安全安心・食育推進計画 成果指標【食の安全安心】

◇第2次熊本市食の安全安心・食育推進計画 成果指標【食育】

◇熊本市食の安全安心・食育推進計画【食育】

第1次計画と第2次計画の関係図

◇第2次熊本市食の安全安心・食育推進計画における目標達成のための具体的な取り組み【食育の推進】

◇「第2次熊本市食の安全安心・食育推進計画」素案

◇政策調整会議内容検討表（様式4）

【審議結果】 ◆一部修正のうえ了承

【議事概要】 ◇第2次熊本市食の安全安心食育推進計画の素案の内容について、以下を修正の上、了承する。

- ①食の安全安心の成果指標である「食事・食品等に関する知識や情報を公的機関から得ている市民の割合」については、削除するのではなく、項目の再検討を行うこと。
- ②食の安全安心の成果指標である「食品の安全性について不安を感じる市民の割合」について、「安心」を計るものへの変更を検討すること。
- ③概要の「食品ロス低減」という文言を、分かりやすい言葉に修正すること。

【審議の経過】◇食の安全安心に関する指標を1つ削除する理由を確認したい。(寺崎副市長)

⇒削除予定の指標は、食品に関する正しい知識が行政から発信されるという想定であるが、民間からも多様な情報が発信されている現状において、その想定は不適切であると考えたため。(中間食品保健課長)

⇒食品に関する正しい情報を発信していく立場として、大事な指標ではないか。(西島副市長)

⇒食品に関する情報は大事な問題なので、指標を削除するべきではない。(寺崎副市長)

⇒知識を得ようとしているかどうかを確認する指標であれば、設定できるのではないか。(岡田企画振興局次長)

⇒市民の意識行動に関する指標なので、意識や、積極性を確認することが必要ではないか。(幸山市長)

◇検査機器の整備についての記載があるが、整備対象は環境総合センターの想定か。また具体的な整備想定の機器があるか。(原本環境局長)

⇒整備対象は、環境総合センターと保健所を想定している。なお、現在のところ具体的に予定している整備対象はない。(中間食品保健課長)

◇食の安全安心の指標が全て「不安」を計るものだが、「安心」を計るものがあった方が良いのではないか。(石原北区長)

⇒「食品の安全性について不安を感じる市民の割合」について、「安心」を計るものに変更することを検討する。(中熊健康福祉局次長)

◇ヘルシーおいしい中食・外食推進事業は、例えば包括連携協定を締結しているローソンなどに、協力してもらえないのか。(寺崎副市長)

⇒ローソンには相談しているが、コスト面で難しいところがあるとのこと。(田端健康づくり推進課長)

◇熊本市版 HACCP は、推進しているものの十数件に留まっている。これでは推進している意味がない。活用しているところにインセンティブを持たせるなどしないと、改善できない。具体案が必要。(西島副市長)

◇「食品ロス低減」という文言は概要にしかなく、またわかりにくいので一般的な言葉に修正すること。(幸山市長)

⇒「生ごみ減量」など、分かりやすい言葉に修正すること。(寺崎副市長)